

取扱説明書

本取扱説明書は保証規定に関する記載があります。
紛失しないように保管してください。



miniRITE

Oticon Intent

Made for
iPhone | iPad



Works with
android

oticon
life-changing technology

取扱説明書について

この取扱説明書では補聴器の使用方法や取り扱い方法を説明しています。補聴器の機能を最大限に活用いただくためにも注意事項の項目を含めて、この取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。



注意事項

警告マークの付いた箇所は、機器を使用する前に必ずお読みください。

聴覚ケア専門家がユーザーのニーズに合わせて補聴器を調整します。詳しくは聴覚ケア専門家にお問い合わせください。

聴覚ケア専門家*(補聴器専門家、言語聴覚士、耳鼻咽喉科医、補聴器販売店スタッフ)は、必要な教育を受け、聴覚に関して専門的観点から評価でき、難聴者に対して補聴器を選択、フィッティングを提供でき、リハビリテーションを行える人物です。

*国によって職種が異なる場合があります。

目次

製品について

製品について	6
使用に際して	8
補聴器本体と対応スピーカー及びイヤピース	10

ご使用前に

電池のパフォーマンス	14
電池残量低下の通知	15
補聴器の電源のオン/オフ	16
補聴器の左右表示	18

取扱い

補聴器の装着のしかた	19
お手入れ	20
補聴器のお手入れ	21
標準的なイヤピースの交換	22
オーダーメイドイヤピースのお手入れ	23
ミニフィットプロワックス(耳垢防止フィルター)	24
ミニフィットプロワックス(耳垢防止フィルター)の交換	25

目次

プロワックスフィルター(耳垢防止フィルター)の交換	26
音量調節	27
プログラムの切り替え	28
補聴器の保管	30
オプション	
Bluetoothのオン/オフ	31
消音	32
デジタル機器に接続して使用するとき	33
ペアリングと互換性	34
電話への対応	36
外部機器とのワイヤレス接続	38
耳鳴り	
耳鳴りサウンドサポート【専門家向け機能】	40
耳鳴りサウンドサポート使用者のためのガイドライン	41
使用時間の制限	41
サウンドオプションおよび音量調節	42
耳鳴りサウンドサポートに関する注意点	44

注意事項

注意事項	46
------	----

追加事項

防塵・防水対応について (IP68)	52
動作環境について	53
技術適合基準、安全基準および認可番号	54
性能一覧表	58
本書で使用される凡例	72
保証とアフターサービス	76
国内保証	78
国際保証	80
補聴器の設定	82
通知音とLED表示	85
トラブルシューティング / 故障と思われるときの対処法	90

製品について

本取扱説明書は、以下の補聴器モデルとスタイルに対応しています：

miniRITE

FW 1.0

- | | |
|---|---------------------------|
| <input type="checkbox"/> Oticon Intent 1 miniRITE | GTIN: (01) 05714464133130 |
| <input type="checkbox"/> Oticon Intent 2 miniRITE | GTIN: (01) 05714464133147 |
| <input type="checkbox"/> Oticon Intent 3 miniRITE | GTIN: (01) 05714464133154 |
| <input type="checkbox"/> Oticon Intent 4 miniRITE | GTIN: (01) 05714464133161 |

上記モデルはそれぞれ下記のスピーカーに対応しています：

- ミニフィット ディテクト 60スピーカー
- ミニフィット ディテクト 85スピーカー
- ミニフィット ディテクト 100スピーカー (パワー型)
- マイクロシェル ディテクト 60
- マイクロシェル ディテクト 85
- マイクロシェル ディテクト 100 (パワー型)
- マイクロシェル ディテクト 105 (パワー型)

本製品のパッケージ内容は下記のとおりです：

- 補聴器
- マルチツール
- お手入れ用クロス

使用に際して

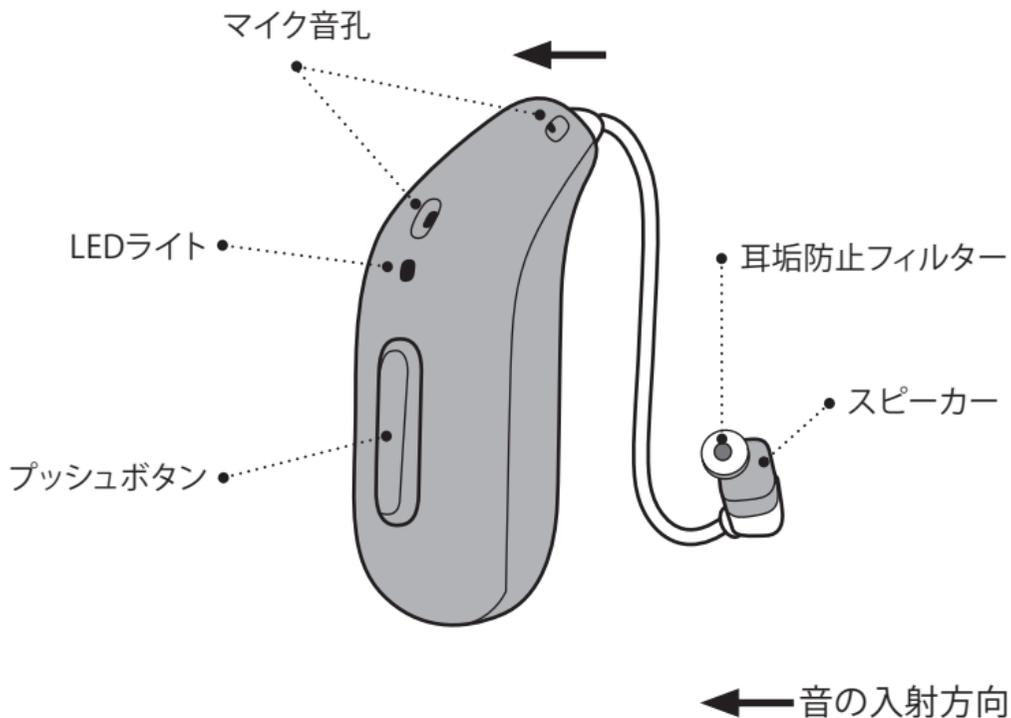
使用用途	補聴器は音を増幅し耳に届けます。
使用上の注意	感音性、伝音性または混合型の両側性または片側性の聴覚障害で、個々の周波数に特徴がある軽度 (16dB HL*) から重度 (95dB HL*) までの難聴の方
対象ユーザー	補聴器ユーザーとその介護者。補聴器のフィッティングを担当する聴覚ケア専門家。
対象ユーザー年齢	成人および36か月以上の子ども
使用環境	屋内並びに屋外
禁忌事項	36か月未満の乳幼児には適しません。体内埋め込み型インプラントをご使用の場合は、補聴器を使用する際、特別に注意が必要です。詳細は 注意事項 を参照ください。
臨床的ベネフィット	補聴器は、生活の質 (QOL) の向上を目的に、より良い会話理解とコミュニケーションの向上のために設計されています。

* 米国音声言語聴覚協会 (asha.org) によって指定された、0.5、1、2 kHzの純音平均を使用。

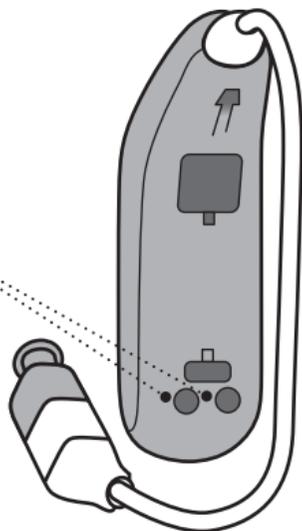
重要なお知らせ

補聴器は、聴覚ケア専門家によって補聴器ユーザーの聴力及び個別のニーズにあわせて調整及び最適化を行う管理医療機器です。

補聴器本体と対応スピーカー及びイヤピース

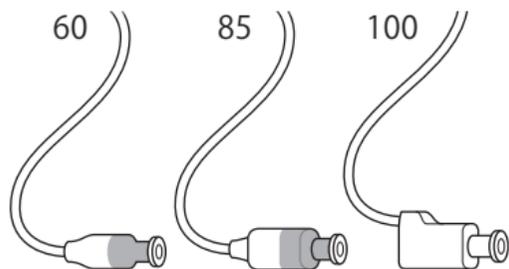


充電パッド

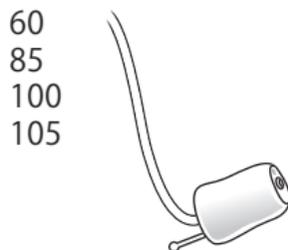


本製品は以下のスピーカーのいずれか1つを使用します：

ミニフィットディテクトスピーカー



オーダーメイドスピーカー



マイクロシェルディテクト

スピーカーには以下のイヤピースのいずれかを使用します：

標準的なイヤピース



オープンベースドーム



ベースドーム、ダブルベント



パワードーム



グリップチップ

2つのサイズ(S/L)、左用、右用、ベントの有無が選べます

オーダーメイドイヤピース



ライトチップ**



マイクロモールド**

ドームのサイズ



5 mm* 6 mm 8 mm 10 mm 12 mm

**アクリル素材で作られています

注意

ドームの交換については標準的なイヤピースの交換を合わせて参照ください。

*ミニフィットディテクト60スピーカーのみに対応

電池のパフォーマンス

補聴器を毎晩充電してください。そうすることで、フル充電された状態で補聴器を使用できます。初めて充電式補聴器を使用する場合は、必ずフル充電してください。

電池のパフォーマンスは、使用状況や補聴器の設定により左右されます。TVや携帯電話、コネクティビティ機器からの音声ストリーミングは電池のパフォーマンスに影響を与えます。

もし、電池が一日の使用分に足りなくなってきたら、電池交換の時期の可能性がります。お買い求めの販売店にご相談ください。

充電器の使用方法については、充電器の取扱説明書を参照ください。

重要なお知らせ

周囲の温度が高い環境で充電する場合、補聴器は最大で45°Cに達することがあります。動作環境についてを併せて参照ください。

電池残量低下の通知

電池の残量が切れるまで一定時間ごとに通知音が鳴ります。聴覚ケア専門家が、お客様の好みに合わせて設定することができます。

通知後、補聴器の電池が切れるまで約 2 時間あります。この時点では、約 1 時間ストリーミング音声を再生できます。電池寿命を延ばすには、ストリーミング音声を停止してください。

電池残量が少なくなっています

 短いビープ音 3 回

電池残量が完全になくなっています

 下降音 4 回

 音声通知

LED表示

高速のオレンジ色の連続点滅は、電池残量の低下を表します。

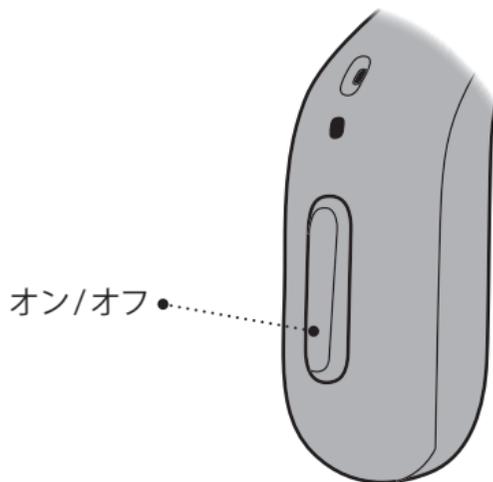
補聴器の電源のオン/オフ

補聴器の電源は充電器またはプッシュボタンでオン/オフができます。

	充電器	プッシュボタン	LED表示
オン	補聴器を充電器から外します*	プッシュボタンを約2秒間押し続けます	補聴器のLEDライトが緑色に点灯します。 補聴器の設定によっては、充電器から外した際に、起動時のメロディ音が聞こえる場合があります
オフ		プッシュボタンを約3秒間押し続けます	補聴器のLEDライトがオレンジ色に点灯します。4回のビーブ音(下降音)が聞こえます

通知音については、通知音とLED表示を参照してください。

*補聴器の充電中に充電器が電源から切断されたり、内蔵充電電池がなくなったりすると、節電のために補聴器の電源がオフになることがあります。補聴器を充電器から取り外しても自動的に電源が入らない場合は、プッシュボタンを使って手で電源を入れてください。



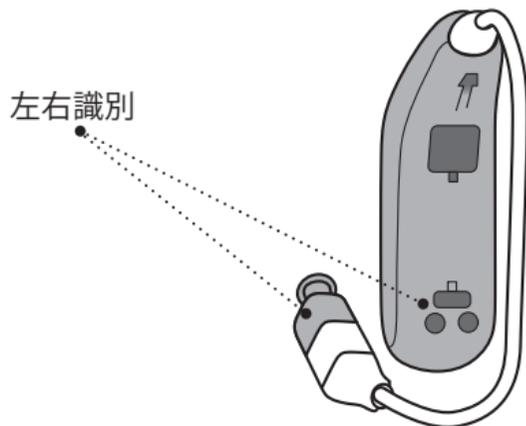
重要なお知らせ

補聴器を充電ポートにセットする際には充電器の電源がオンになっていることを確認してください。詳細な情報については、充電器の取扱説明書を参照ください。

補聴器の左右表示

補聴器は、左右の耳で設定が異なることもあり補聴器の左右をきちんと見分けることが大切です。

補聴器の右耳用と左耳用を色で表示します。赤は補聴器が右耳用であることを示します。青は補聴器が左耳用であることを示します。



補聴器の装着のしかた

ステップ 1

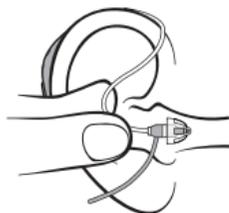


補聴器本体を耳の後ろにかけてください。

スピーカーは必ずイヤピースを装着して使用します。

必ずお客様の補聴器に合ったイヤピースをご使用ください。

ステップ 2



親指と人差指でスピーカーワイヤーの湾曲した部分をつまみます。

イヤピースは外耳道に向かってまっすぐ挿入してください。

ステップ 3

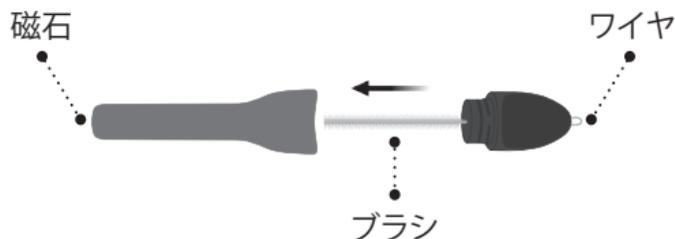


スピーカーのワイヤーが耳の付け根に沿うように、イヤピースをやさしく耳に押し入れてください。

補聴器にイヤグリップがついている場合には上記の図の通り耳の溝に入れてください。

お手入れ

マルチツールは、クリーニングと耳垢の掃除のためのブラシとワイヤを内蔵しています。新しいマルチツールが必要な場合は、お買い求めの販売店/クリニックにお問い合わせください。



重要なお知らせ

マルチツールは磁石を内蔵しています。クレジットカードや磁石の影響を受ける恐れがある機器類からは最低30cm (1フィート) 離して保管してください。

補聴器のお手入れ

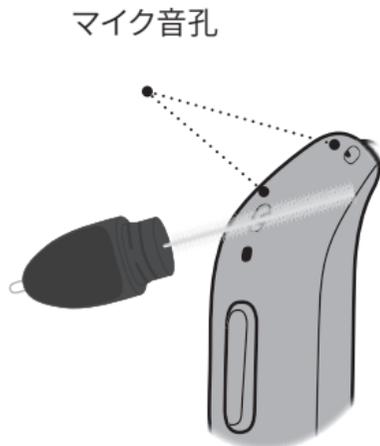
補聴器を取り扱う際には、落として壊してしまわないように椅子に座るなどして、表面のやわらかいものの上で行ってください。

マイク音孔のお手入れ

マイク音孔がゴミや汚れなどでつまっているときはマルチツールのブラシを使用し、これらの汚れをそっと取り除いてください。

無理にマルチツールを奥まで差し込まないよう気をつけてください。補聴器を傷めるおそれがあります。

最適な充電を行うため、充電パッドを清潔に保ってください。乾いた布で充電パッドを拭いてください。



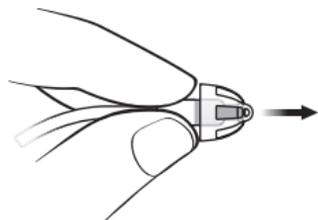
重要なお知らせ

補聴器のお手入れには、やわらかく乾いた布をご使用ください。補聴器本体を絶対に水や液体で洗ったり、浸したりしないでください。

標準的なイヤピースの交換

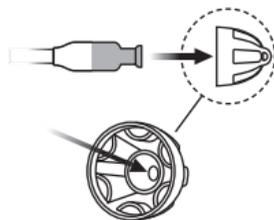
標準的なイヤピース(ドームとグリップチップ)は洗浄しないでください。
イヤピースが汚れたり古くなってきた際には、交換してください。
グリップチップは最低でも1か月に1度を目途に交換してください。

ステップ 1



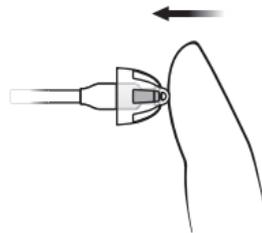
スピーカーを持ちながらイヤピースをつまんで、引っ張って外してください。

ステップ 2



スピーカーを新しいドームの真ん中にしっかりと押し込んでください。

ステップ 3



イヤピースが落ちないように必ずしっかりと奥まで押し込んでください。

オーダーメイドイヤピースのお手入れ

オーダーメイドイヤピースは定期的にお手入れしてください。

イヤピースには補聴器を耳垢やゴミによるダメージから守るため白い耳垢防止フィルターが付いています。*

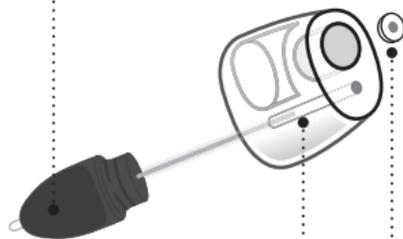
フィルターがつまっているとき、また補聴器の音がおかしいときは専用の耳垢防止フィルターを交換するか、または聴覚ケア専門家にお問い合わせください。

注意

モールド又はライトチップを使用している場合、聴覚ケア専門家はスピーカーの耳垢防止フィルターを交換してください。

*すべてのモールドに耳垢防止フィルターがあるわけではありません。フィルターの構成はモールドによって異なります。詳しくは聴覚ケア専門家にお問い合わせください。

- ベントにマルチツールのブラシを軽くねじりながら差し込んでください



ベント ●

耳垢防止フィルター ●

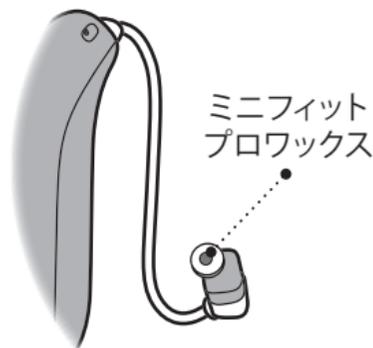
重要なお知らせ

補聴器を外した際にドーム類がついていない場合は、外耳道にドームが残っている場合があります。対処については、耳鼻科医または補聴器販売店へご相談ください。

ミニフィットプロウックス(耳垢防止フィルター)

スピーカーにはイヤピース側の端に白い耳垢防止フィルターが付属しています。耳垢防止フィルターはスピーカーを耳垢やごみによる損傷から保護します。

フィルターが詰まったり、補聴器の音がおかしい場合、耳垢防止フィルターを交換するか、または聴覚ケア専門家にお問い合わせください。イヤピースを取り外してから耳垢防止フィルターを交換してください。交換方法は標準的なイヤピースの交換を参照ください。



重要なお知らせ

ミニフィットプロウックスは、販売店で補聴器を購入した際に同梱されたものと同じものをご使用ください。耳垢防止フィルターの使用や交換についてのお問い合わせは聴覚ケア専門家にお問い合わせください。

ミニフィットプロワックス(耳垢防止フィルター)の交換

1. ツールを取り外す



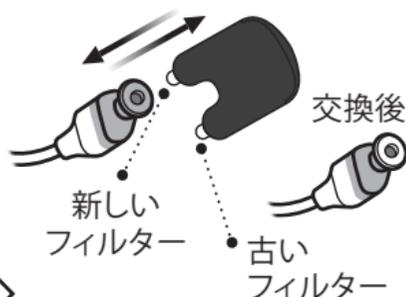
ケースからツールを取り外します。ツールには2種類のピン—空のピンと交換用フィルターの取り付けられているピンがあります。

2. 古いフィルターの取り外し



空のピンをスピーカーに取り付けられている古いフィルターに押し付け、引き抜きます。

3. 新しいフィルターの挿入



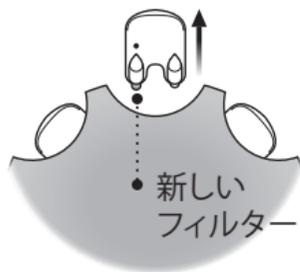
新しいフィルターが付いている側のピンを挿入し、新しいフィルターを装着してください。装着後ツールを引き抜きます。

注意

モールド又はライトチップを使用される場合、聴覚ケア専門家が交換をします。

プロワックスフィルター（耳垢防止フィルター）の交換

1. ツールを取り外す



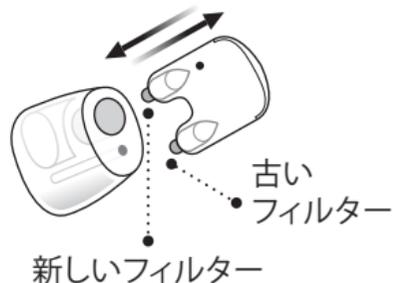
ケースからツールを取り外します。ツールには2種類のピン—空のピンと交換用フィルターの取り付けられているピンがあります。

2. 古いフィルターの取り外し



空のピンをモールドに取り付けられている古いフィルターに押し付け、引き抜きます。

3. 新しいフィルターの挿入

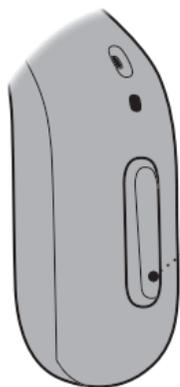


新しいフィルターが付いている側のピンを挿入し、新しいフィルターを装着してください。装着後ツールを引き抜きます。

音量調節

補聴器のプッシュボタンを操作して補聴器の音量を変更することができます。音量を上下させるとピツという音が鳴ります。

プッシュボタン操作については、本書最終項にある、補聴器の設定内の補聴器設定の概要の一覧表を参照ください。



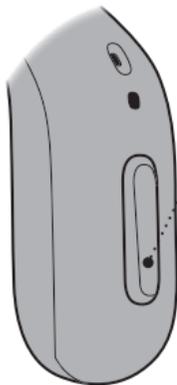
● 両耳で補聴器を装用する場合: 音量を上げるには、右の補聴器のボタンを短く押してください

音量を下げるには、左の補聴器のボタンを短く押してください



プログラムの切り替え

お買い上げの補聴器は4つまでのプログラムを設定できます。プログラムの設定は聴覚ケア専門家が行います。プログラム切り替え時に、プログラム番号に応じて1回～4回通知音が鳴ります。



- プログラムを切り替え時にはプッシュボタンを押します。

両耳で補聴器を装用する場合：

右側の補聴器のボタンを押すとプログラムが進みます。(例：プログラム1→プログラム2)

左側の補聴器のボタンを押すとプログラムが戻ります。(例：プログラム4→プログラム3)

通知音については通知音とLED表示を参照ください。

プッシュボタン操作については、本書最終項にある、補聴器の設定内の補聴器設定の概要の一覧表を参照ください。

補聴器の保管

補聴器を使用しない時は必ず補聴器を充電器にセットした状態にしてください。

充電電池の寿命を長持ちさせるために、過剰に高温な環境に補聴器をさらさないでください。補聴器を充電器にセットした状態だとしても、日向の窓際や炎天下の車内などに放置しないでください。

長期間の保管

長期間(3か月以上)補聴器を使用せず保管する前に、フル充電してください。その上で補聴器の電源をオフにしてください。この処置をした場合は、再び充電が可能です。

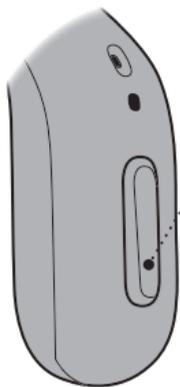
注意

充電電池保護のため、6ヶ月毎に充電してください。6ヶ月以内に充電しない場合、充電電池の交換が必要になることがあります。

Bluetoothのオン / オフ

Bluetooth通信機能は補聴器でオン/オフを切り替えることができます。Bluetoothをオフにしても、補聴機能はオンのままです。片側の補聴器のプッシュボタンで両耳のBluetoothがオフになります。通知音とLED表示については通知音とLED表示の項を参照ください。

補聴器はBluetooth通信技術を使用しています。補聴器は航空機内での携帯用電子機器に適用される制限からは除外されるため、航空機内で使用することができます。但し離着時など航空会社の指示がある場合はその指示に従ってください。



- Bluetoothをオン/オフするには

プッシュボタンを約7秒間押し続けます。

4つの下降音、短いメロディ音とLEDライト表示でお知らせします。

消音

補聴器は、オプションとなる専用アプリまたは一部の外部機器を併用することによって消音/消音解除を行うことができます。また、補聴器のプッシュボタンを短く押すことでも、消音を解除できます。詳しくは、聴覚ケア専門家にお問い合わせください。

重要なお知らせ

消音機能を電源オフの代わりとして使用しないでください。消音機能では、音が出なくても電池は消耗します。

デジタル機器に接続して使用する時

iPhone、iPad、iPod touchおよび Mac

本製品はMade for iPhone®補聴器であり、iPhone、iPad、iPod touchまたはMacからの直接ストリーミングが可能です。*

Android機器

本製品は、Audio Streaming for Hearing Aids (ASHA)をサポートしており、お使いのAndroid™機器からの直接ストリーミングが可能です。*

Oticon Companionを併用して、携帯機器から補聴器を操作することができます。*

加えて、本製品は互換性を有するApple iOSおよび一部のAndroid機器とのハンズフリー通話が可能です。*

補聴器とこれらの製品との使用に関しましては、聴覚ケア専門家にお問い合わせください。

*iPhone、iPad、iPod touch、MacおよびAndroid機器の互換製品リストは下記ウェブサイトをご参照ください：
www.oticon.global/compatibility

Apple、Appleのロゴ、iPhone、iPad、iPod touch、Mac、およびMacのロゴは、米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

ペアリングと互換性

補聴器とiPhone、iPad、iPod touch、MacおよびAndroid機器とのペアリング方法については、アクセス先：

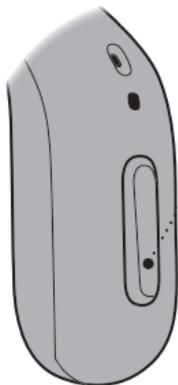
www.oticon.co.jp/pairing/

iPhone、iPad、iPod touch、MacおよびAndroid機器の互換製品リストは、下記ウェブサイトを参照ください：

www.oticon.global/compatibility

電話への対応

補聴器のプッシュボタンを使って、電話の応答、拒否または終了ができます。また、補聴器本体をタップするタップコールコントロール機能を使って電話に応答するまたは通話を終了することもできます。



● 応答

応答するには、プッシュボタンを短く押しします。短いトーン音がします。

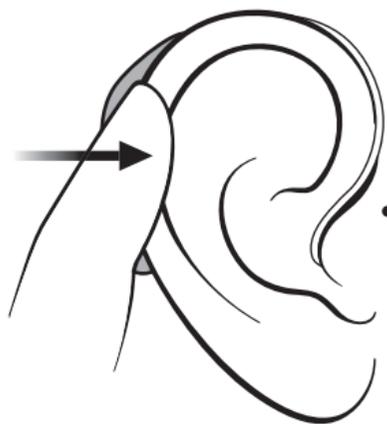
拒否

通話を拒否するには、プッシュボタンを押し続けます。下降音が聞こえます。

終話

通話を終了するには、通話中にプッシュボタンを押し続けます。下降音が聞こえます。

着信機能を使用するには補聴器と対応しているモバイル機器とをペアリングする必要があります。*



● **応答**

応答するには、耳または補聴器を指を使ってダブルタップします。短いトーン音がします。

● **終話**

通話を終了するには、耳または補聴器を指を使ってダブルタップします。下降音が聞こえます。

* モバイル機器の互換製品リストは下記ウェブサイトをご参照ください：www.oticon.global/compatibility

外部機器とのワイヤレス接続

お買い上げの補聴器には、ワイヤレス機能が搭載されており、ワイヤレスでさまざまな外部機器と接続することができます。日常生活の多くの場面でよりよい聞き取りやコミュニケーションをサポートします：

ConnectClip

携帯電話とペアリングして、補聴器をハンズフリーヘッドセットとして使用できます。リモートマイクとしても使用することができます。

Phone Adapter 2.0

補聴器とコネクタクリップを併用することで、固定電話をハンズフリーで通話できます。

TVアダプター 3.0

テレビアダプターはテレビやその他オーディオ機器の音声を補聴器に直接届けます。

Remote Control 3.0

補聴器のプログラム切り替えと音量調節、消音を行うことができます。

Eduマイク

教室、職場、(テレコイルを介して)公共設備などでの聞こえをサポートするワイヤレスリモートマイクシステムです。

Oticon Companion

補聴器を携帯電話やタブレットから操作できるアプリケーションです。iPhone、iPad、iPod touch、Android 端末に対応しています。Oticon Companionアプリは、公式アプリストアからのみダウンロードするようにしてください。

テレコイル

テレコイル対応電話や、ループシステムを採用した建物(映画館、講堂など)で聞き取りをサポートします。上記マーク又は類似のマークのある場所ではテレコイルが採用されています。



Apple、Appleロゴ、iPhone、iPad、およびiPod touchは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。Android、Google Play、およびGoogle Playのロゴは、Google LLCの商標です。

耳鳴りサウンドサポート【専門家向け機能】

耳鳴りサウンドサポートの使用目的【専門家向け機能】

耳鳴りサウンドサポートは、耳鳴り対処・治療の一環として耳鳴りに悩む方を対象に一時的な耳鳴り緩和のための音を発生させる機能です。

使用の対象者：18歳以上の成人

耳鳴りサウンドサポートは、難聴および耳鳴りの評価と対処方法に精通している耳鼻咽喉科医、並びにこれら医師の指導の下での聴覚ケアの専門家による調整を意図しています。耳鳴りサウンドサポートのフィッティングは、耳鳴り治療や対処に関わる補聴器専門スタッフによって行われなければなりません。

耳鳴りサウンドジェネレーター使用者のためのガイドライン

専門医は、適切なフォローアップケアの提案を行うことができます。医師の助言や治療方針に従うことが重要です。

使用時間の制限

日常の使用の注意点

耳鳴りサウンドサポートの音量は、長時間使用すると聴力低下を招く恐れのある、高出力音量までの設定が可能です。専門家による1日あたりの最大装用時間の指示に従ってください。不快な音量、また大きすぎる音量での使用は避けてください。

本書の「補聴器の設定」内の「耳鳴りサウンドサポート:補聴器設定ごとの使用上限」を参照し、安全に使用できる1日当たりの緩和音の上限時間をご確認ください。

サウンドオプションおよび音量調節

耳鳴りサウンドサポートは、聴覚ケアの専門家によってお客様の聴力および耳鳴り緩和のための音の好みに合わせてプログラムされます。

耳鳴りサウンドサポートプログラム

サウンドジェネレーター機能は最大4つまで、プログラムへの設定が可能です。

消音

耳鳴りサウンドサポートが有効になっているプログラムを使用している場合、消音機能は環境音のみを消音し、耳鳴りサウンドサポートの音は消音しません。補聴器を消音する方法については、消音の項を参照してください。

耳鳴りサウンドサポートの音量調節

聴覚ケア専門家は、耳鳴りサウンドサポートが有効になっている補聴器プログラムの音量調節を設定することができます。

耳鳴りサウンドサポートの音量調整の詳細については、本書の最終項の「補聴器の設定」内の補聴器の「耳鳴りサウンドサポートの設定」を参照してください。

⚠ 耳鳴りサウンドサポートに関する注意点

医師並びにその指示の下、補聴器専門家によって耳鳴りサウンドサポートが有効に設定されている場合には、下記にご注意ください。

いかなる耳鳴り緩和用装置でも、装置から発生するサウンドの使用にあたっては、耳鳴りの悪化および聴力の変化などの懸念が伴います。

聴力や耳鳴りの変化、めまい、吐き気、頭痛、動悸、または補聴器装用による皮膚のかゆみなどを感じたら、すぐに補聴器の使用を中断し、医師または補聴器専門スタッフへご相談ください。

他の電子機器と同様に、サウンドジェネレーターを誤って使用すると、危険性を伴う影響があります。適切な使用方法を守り、子どもおよびペットの手の届かないようにご注意ください。

最大装用時間

医師による指示に基づいて設定された耳鳴りサウンドサポートの一日当たりの最大装用時間を必ず守ってご使用ください。最大装用時間を超過した使用は耳鳴りの悪化および聴力の悪化に繋がる恐れがあります。

注意事項

補聴器を正しくかつ安全にお使いいただくために、補聴器をお使いになる前に本取扱説明書の注意事項を正しくご理解いただいた上でご使用ください。補聴器に関して予期しない動作や事象が発生した場合には、お買い上げの補聴器販売店へご相談ください。販売店は問題の対応のサポートを行い、必要に応じて関係当局に報告を行います。

補聴器は正常な聴力を回復するものではなく、加齢や病気などの自然現象による聴力障害を予防または改善するものではないことに注意してください。

補聴器は聴覚利幅の一部であり、聴覚訓練や読唇術の指導で補う必要がある場合があります。

補聴器のメリットを最大限ご体感頂くために、日常的に装着してください。

必ず専用の充電器で充電してください。その他の方法で充電すると補聴器と充電電池の故障の危険性があります。

当該補聴器は、取り外しできないリチウムイオンバッテリーセルを使用しています。充電式補聴器に関する安全や取扱についてご理解いただいた上で補聴器を充電してください。

補聴器の使用

補聴器は、聴覚ケア専門家の指示に従ってお使いください。誤った使い方をすると、聴力低下の原因になる場合があります。ご自身の補聴器は絶対に他の人に使用させないでください。間違った使用は聴覚器官を傷める原因となることがあります。

小さな部品の誤飲と窒息の危険性について

すべての小さな部品（例：補聴器、イヤープース、電池など）は、幼児や誤ってこれらを飲み込む危険性のある人の手の届かない、また目につきにくい場所に保管してください。小さな部品をのどに詰まらせたり、電池を飲み込んだりした場合には、ただちに救急医療機関を受診してください。

爆発の恐れのある環境を避ける

通常の使用状態において、この補聴器は、発火の誘引となるエネルギーはありません。爆発的雰囲気に関する国際規格に適合する試験を実施していません。

爆発の危険がある環境(例: 鉱山、酸素が豊富な環境、可燃性麻酔薬を含む引火性・可燃性のあるものを取り扱う場所)で補聴器を使用しないでください。

電池の誤飲と窒息・死亡事故につながる危険性
電池は絶対に飲み込まないでください。誤飲により重傷を負う危険や数時間のうちの死亡といった危険性が差し迫って生じることがあります。電池の誤飲によってやけどや内臓に穴が開くことがあります。補聴器やその部品、電池は幼児や誤ってこれらを飲み込む危険性のある人の手の届かない場所へ置いてください。薬を飲むときに、電池を特に錠剤と間違えることがありますので、錠剤を服用する前には十分にご注意ください。電池の誤飲時には、直ちに救急医療機関を受診してください。

電池を耳の穴や鼻の中に入れる危険性電池を耳の中や鼻に入れしないでください。化学やけどによる後遺症につながる可能性があります。電池を耳や鼻に入れた場合は直ちに医師に連絡してください。

充電電池を交換しようとししないでください

補聴器を開けようとししないでください。電池を傷める可能性があります。

電池を自身で交換しないでください。電池交換が必要な場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。改ざんの兆候がある場合は、保証対象外となります。

充電電池の液漏れに注意

電池が液漏れしているように見えた場合は補聴器に触れないでください。液漏れした電池からの酸により、皮膚の炎症を起こす可能性があります。漏れた電池の酸が触れた場合は、濡れた布を使って拭き取ってください。皮膚の炎症が起きた場合は、医師に相談してください。

次のページに続く

注意事項

補聴器の取り扱いについては、お買い上げ販売店へ連絡してください。

突然の動作停止にご注意ください

補聴器は、事前通知なく動作が停止する可能性があります。例えば電池が切れた場合や断線、チューブが詰まった場合などです。特にさまざまな警告音に依存するような環境(往来など)ではご留意ください。

能動型医療埋め込み機器との使用

お客様の補聴器は、誘導電磁電力および電圧の人体への影響を含み国際規格に基づく人体への曝露(比吸収率-SAR)について、人体の健康のために徹底的に試験を行い開発されています。

この曝露値は、人間の健康基準およびペースメーカーや心臓除細動器などの能動的な医療用インプラントとの共存で定義された、人体へのSAR、誘発電磁力および電圧誘導の国際的に許容される安全限界を大きく下回っています。

能動型脳インプラントをご使用の場合には、埋め込み型機器のメーカーに干渉の危険性についてお問い合わせください。

埋め込み型機器をオートフォン用磁石や内蔵磁石のあるお手入れ用ブラシを30cm(1フィート)以上近づけないでください。(例:胸ポケットなどに入れて持ち歩かない等)一般に、磁石を使用する場合は、埋込み型除細動器およびペースメーカーのメーカーが推奨するガイドラインに従ってください。

人工内耳

片方の耳に人工内耳(CI)を使用し、もう一方の耳に補聴器を使用している場合は、CIを補聴器から少なくとも1センチメートル(0.4インチ)離してください。CIからの磁場により、補聴器のスピーカーユニットに損傷を与える可能性があります。補聴器の掃除や電池交換するときなど、テーブルの上に両方の機器を近づけないでください。CIと補聴器を同じ箱に入れて持ち運ばないでください。

外耳道内で脱落したイヤピース

耳から取り外したときにスピーカーにイヤピースがついていない場合は、イヤピースが外耳道に残っている可能性があります。対処については聴覚ケア専門家にご相談ください。

特定の医療処置の前には充電器を取り外してください

レントゲン検査、CT/MRI/PETスキャン、電気療法、手術などの医療処置の前には補聴器を外してください。強力な磁気または電磁場に晒されると補聴器が損傷する恐れがあります。

極端な高温を避ける

補聴器を極端な高温にさらさないでください。補聴器を炎天下の車内など高温の場所に放置しないでください。

補聴器を乾燥させるために外部加熱装置を使用しないでください。例えば、ヘアドライヤーや電子レンジやその他のオープンなどで充電器を乾かすようなことはしないでください。

化学製品を避ける

補聴器を傷める可能性のある化学製品を含む製品を使用する際は、予め補聴器を外してください。例えば、化粧品、ヘアスプレー、香水、アフターシェーブローション、日焼け止めローション、虫除けスプレーなどが含まれます。これらの化学製品が乾くまで時間をおいてから補聴器を装用してください。

次のページに続く

注意事項

外部機器と充電器との接続

本充電器を同梱のUSBケーブル以外の外部機器と接続する場合、使用するUSBケーブルはIEC62368-1または同等の安全基準に適合している必要があります。

起こりうる副作用

補聴器、モールドやドームを使い始めると耳垢が出やすくなることがあります。お買い上げの補聴器はアレルギー誘発性物質を排除していますが、まれに耳の中にかゆみを生じたりや通常とは異なる状態が発生する可能性もあります。耳に何らかの異常を感じた場合は、医療機関を受診してください。

メーカー純正でないアクセサリーの使用

メーカーより提供されたアクセサリー、ケーブルまたは変換器(例:マイク)のみを使用してください。メーカー純正でないアクセサリーの使用は、補聴器の電磁ノイズに対する電気・電子機器の耐性(EMC)の低下につながる恐れがあります。

変更・修正の禁止

メーカーによって明示的に承認されていない変更または修正は、機器を操作するためのユーザーの権限を無効にする可能性があります。

干渉

当該補聴器は、EN/IEC 60601-1-2 およびその改訂版を含む、最も厳しい国際基準に従って電磁波干渉について徹底的に試験が行われています。携帯電話やWi-Fiルーターなどは補聴器の性能に影響を与える可能性があります。また上記記号のある装置の近くでは、電磁干渉が発生する場合があります。補聴器が電磁干渉の影響を受ける場合、干渉を減らすために干渉原因から遠ざけてください。

防塵・防水対応について(IP68)

お買い上げいただきました補聴器は日常防水対応の補聴器です。同補聴器は防水・防塵の指標となる国際規格を取得しておりますが、完全防水ではありません。

充電を開始する前に水気を拭き取ってください。

重要なお知らせ

入浴時や水泳、シュノーケリング、ダイビングなどのスポーツを行う際には補聴器を外してください。補聴器を水やその他の液体に浸すことはおやめください。

動作環境について

動作環境条件	温度: +5°C ~ +40°C (41°F ~ 104°F) 湿度: 5% ~ 93%RH、ただし結露しないこと 気圧: 700 hPa ~ 1060 hPa
充電環境条件	温度: +5°C ~ +40°C (41°F ~ 104°F) 湿度: 5% ~ 93%RH、ただし結露しないこと 気圧: 700 hPa ~ 1060 hPa
保管条件および輸送条件	保管および輸送の際、以下の範囲を超えないこと: 輸送: 温度: -20°C ~ +60°C (-4°F ~ 140°F) 湿度: 5% ~ 93%RH、ただし結露しないこと 気圧: 700 hPa ~ 1060 hPa 保管: 温度: -20°C ~ +30°C (-4°F ~ 86°F) 湿度: 5% ~ 93%RH、ただし結露しないこと 気圧: 700 hPa ~ 1060 hPa

注意

充電器に関する情報: 動作環境については充電器の取扱説明書を参照ください。

技術適合基準、安全基準および認可番号

この補聴器には、下記の2つの無線送信機が搭載されています:

3.84MHzの短距離磁界誘導技術を使用した無線送信機を搭載しています。送信機の磁場の強さは非常に低く、常に $-40\text{ dB}\mu\text{A}/\text{m}$ ($-12.20\text{ dB}\mu\text{A}/\text{ft}$)@10m(33フィート)以下です。

また、ISMバンドである2.4GHz周波数帯を利用したBluetooth Low Energy(BLE)及び独自の短距離無線技術を使用した無線送信機も搭載しています。

無線送信機は弱く、常に2.5 mW以下であり、総放射電力は4 dBmに相当します。

本製品は無線通信が許可されている場所でのみ使用ください。

本製品は、電磁両立性と人体への曝露に関する国際的な規格に適合しています。

この機器には、電波法に基づく技術基準適合証明を受けた特定無線設備が含まれていません。

当該製品の改造は認められていません。(改造時には技術基準適合証明は無効になります。)

補聴器は、一般の公共環境や住宅環境で動作するように設計されています。補聴器は以下の該当する放射および耐性テストに合格しています。

IEC 60601-1-2の表2にある、CISPR 11 グループ 1 クラス B デバイスに対する放射性妨害波要件。

47 CFR Part 15、サブパート C、RSS-247、およびEN 300 328にあるISM 2.4 GHzバンドで動作する通信デバイスのBluetoothを搭載した製品に対する放射性妨害波。

47 CFR Part 15、サブパート C、RSS-210、およびEN 300 330にある3.84 MHzで動作する近接磁気誘導通信のための放射性妨害波。

IEC 60601-1-2の表4にある80 MHzから2.7 GHzの間での10 V/mの電場レベルに対するRF放射耐性と、CISPR 32にある2.7 GHzから6.0 GHzの間での3 V/mの電場レベルに対するRF放射耐性。

IEC 60601-1-2の表9にある、380 MHzから5.8 GHzの間で選択されたRFワイヤレス通信バンドに対する最大28 V/mの電場レベルのRF放射耐性。

IEC 60601-1-2 AM1の表11にある、30 kHz、134.2 kHz、および13.56 MHzの選択された近接磁場に対する最大65 A/mの電場レベルのRF放射耐性。

IEC 60118-13にある、25 V/mから60 V/mの間の一部の帯域のRF放射耐性。またNSI C63.19にある耳に当てる通信デバイスからの近接磁場のRF放射耐性。

IEC 60601-1-2の表4にある、30 A/mの電場レベルでの電力周波数磁場に対する耐性(テレコイルを搭載した製品に対してのみ)。

IEC 60601-1-2の表4にある、+/- 2、4、および8 kVの伝導放電および+/- 2、4、8、および15 kVの空気放電に対するESD(静電放電)レベルへの耐性。

同補聴器は大きさが限られているので、認可規格の表示は本書に示されています。

追加的な情報は下記URLのテクニカルデータシートで確認いただけます：

www.oticon.global

miniRITE R

当該製品は、無線モジュール(VEAU5MNRR)を搭載しています。技適番号は以下の通りです：

技適番号:202-JKM121

メーカーは、本製品が2014/53/EU指令の基本要件及びその他の関連規定に準拠していることを宣言します。

本医療機器は欧州医療機器規制 (EU) 2017/745 に準拠しています。

この補聴器に関する適合宣言は、当社から入手できます。

Oticon A/S
Kongebakken 9
DK-2765 Smørum
Denmark
www.oticon.global/doc

CE 0123



 SBO Hearing A/S
Kongebakken 9
DK-2765 Smørum
Denmark



電子機器の廃棄物は、
地域の規則に従って
処理する必要があります。



IP68

性能一覧表

miniRITE (Intent1, Intent2, Intent3, Intent4)

<イヤホン60(スピーカー60)>

●特性

電池形式、電圧	ミニ RITE : リチウムイオン電池	等価入力雑音レベル	18dB+3dB 以下
規 準 周 波 数	1600Hz	全 高 調 波 歪	500Hz : 2%未満+3% 以下 800Hz : 2%未満+3% 以下 1600Hz : 2%未満+3% 以下
90dB最大出力 音 圧 レ ベ ル	レスポンス図 高周波数平均値: 105dB±4dB SPL ピーク値: 109dB+3dB SPL 以下		自動利得調整器 (AGC)
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均値:31dB±5dB ピーク値:34dB+3dB 以下	誘導コイル入力の 最大感度レベル (HFA-MASL)	62dB±6dB
規準周波数 レスポンス曲線	レスポンス図 帯域幅: f1=<200Hz, f2=>5000Hz 規準利得:27dB	試験用ループに対する 等価感度(ETLS)	0dB±4dB

2CC コプラーを使用して測定表示してあります。

性能一覧表

miniRITE (Intent1, Intent2, Intent3, Intent4)

<イヤホン85 (スピーカー85)>

●特性

電池形式、電圧	ミニ RITE : リチウムイオン電池	等価入力雑音レベル	19dB+3dB 以下
規 準 周 波 数	1600Hz	全 高 調 波 歪	500Hz : 2%未満+3% 以下 800Hz : 2%未満+3% 以下 1600Hz : 2%未満+3% 以下
90dB最大出力 音 圧 レ ベ ル	レスポンス図 高周波数平均値: 113dB±4dBSPL ピーク値: 116dB+3dBSPL 以下	自動利得調整器 (AGC)	定常状態入出力特性図 アタックタイム:5ms±5ms リリースタイム:26ms±50%
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均値: 47dB±5dB ピーク値: 55dB+3dB 以下	誘導コイル入力の 最大感度レベル (HFA-MASL)	79dB±6dB
規 準 周 波 数 レスポンス曲線	レスポンス図 帯域幅: f1=<200Hz, f2=>5000Hz 規 準 利 得 : 36dB	試験用ループに対する 等価感度 (ETLS)	1 dB±4dB(Intent1) 0dB±4dB (Intent2,Intent3,Intent4)

2CC カプラーを使用して測定表示してあります。

性能一覧表

miniRITE (Intent1, Intent2, Intent3, Intent4)

<イヤホン100(ミニフィット ディテクト 100スピーカー)>

●特性

電池形式、電圧	ミニ RITE : リチウムイオン電池	等価入力雑音レベル	16dB+3dB 以下
規 準 周 波 数	1600Hz	全 高 調 波 歪	500Hz : 2%未満 +3% 以下 800Hz : 2%未満 +3% 以下 1600Hz : 2%未満 +3% 以下
90dB最大出力 音 圧 レ ベ ル	レスポンス図 高周波数平均値: 121dB±4dB SPL ピーク値: 123dB+3dB SPL 以下		自動利得調整器 (AGC)
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均値: 57dB±5dB ピーク値: 59dB+3dB 以下	誘導コイル入力の 最大感度レベル (HFA-MASL)	88dB±6dB
規 準 周 波 数 レ ス ポ ン ス 曲 線	レスポンス図 帯域幅: f1=<200Hz, f2=>5000Hz 規 準 利 得 : 43dB	試験用ループに対する 等価感度(ETLS)	1dB±4dB

2CC コブラーを使用して測定表示してあります。

性能一覧表

miniRITE (Intent1, Intent2, Intent3, Intent4) <イヤホン100 (マイクロシェル ディテクト 100)>

●特性

電池形式、電圧	ミニ RITE : リチウムイオン電池	等価入力雑音レベル	17dB+3dB 以下
規 準 周 波 数	1600Hz	全 高 調 波 歪	500Hz : 2%未満+3% 以下 800Hz : 2%未満+3% 以下 1600Hz : 2%未満+3% 以下
90dB最大出力 音 圧 レ ベ ル	レスポンス図 高周波数平均値: 120dB±4dB SPL ピーク値: 122dB+3dB SPL 以下		自動利得調整器 (AGC)
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均値: 56dB±5dB ピーク値: 58dB+3dB 以下	誘導コイル入力の 最大感度レベル (HFA-MASL)	88dB±6dB
規 準 周 波 数 レスポンス曲線	レスポンス図 帯域幅: f1=<200Hz, f2=>5000Hz 規準利得: 42dB	試験用ループに対する 等価感度(ETLS)	1dB±4dB

2CC コプラーを使用して測定表示してあります。

性能一覧表

miniRITE (Intent1, Intent2, Intent3, Intent4)

<イヤホン105 (スピーカー105)>

●特性

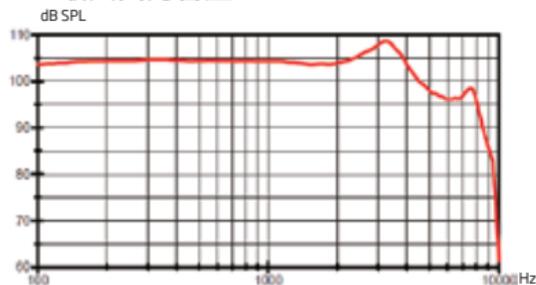
電池形式、電圧	ミニ RITE : リチウムイオン電池	等価入力雑音レベル	17dB+3dB 以下
規 準 周 波 数	1600Hz	全 高 調 波 歪	500Hz : 2%未満+3% 以下 800Hz : 2%未満+3% 以下 1600Hz : 2%未満+3% 以下
90dB 最大出力 音 圧 レ ベ ル	レスポンス図 高周波数平均値: 123dB±4dB SPL ピーク値: 126dB+3dB SPL 以下	自動利得調整器 (AGC)	定常状態入出力特性図 アタックタイム:4ms±5ms リリースタイム:19ms±50%
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均値: 57dB±5dB ピーク値: 63dB+3dB 以下	誘導コイル入力の 最大感度レベル (HFA-MASL)	88dB±6dB
規 準 周 波 数 レ ス ポ ン ス 曲 線	レスポンス図 帯域幅: f1=<200Hz, f2=>5000Hz 規準利得: 45dB	試験用ループに対する 等価感度 (ETLS)	0dB±4dB(Intent1) 1dB±4dB (Intent2,Intent3,Intent4)

2CC カブラーを使用して測定表示してあります。

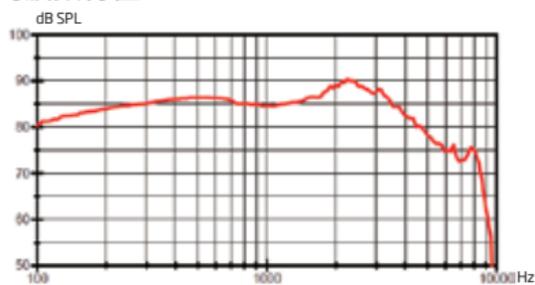
特性表

Intent1 miniRITE <イヤホン60(スピーカー60)>

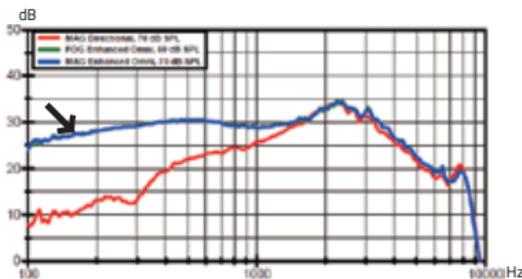
●90dB最大出力音圧レベル



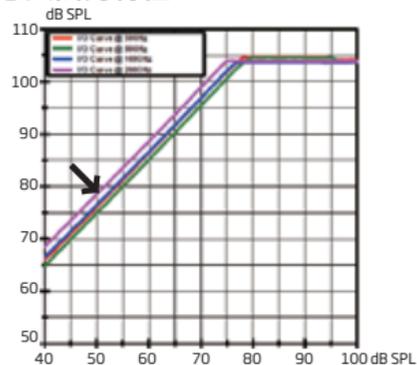
●周波数特性



●最大音響利得



●定常状態入出力特性

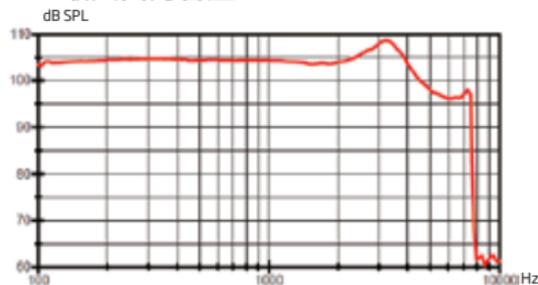


特性表

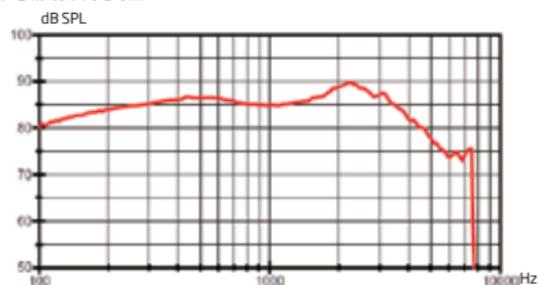
Intent2 miniRITE , Intent3 miniRITE , Intent4 miniRITE

<イヤホン60(スピーカー60)>

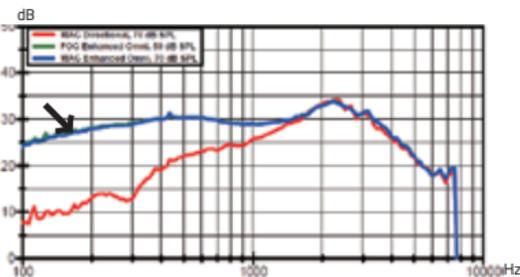
●90dB最大出力音圧レベル



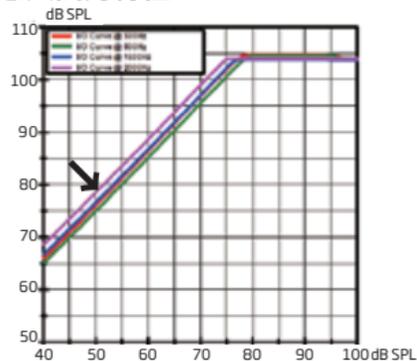
●周波数特性



●最大音響利得



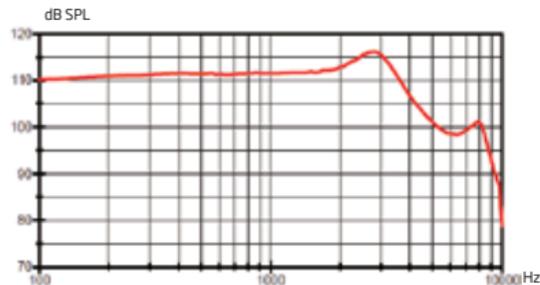
●定常状態入出力特性



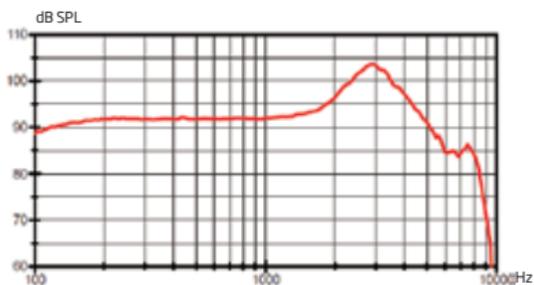
特性表

Intent1 miniRITE <イヤホン85 (スピーカー85)>

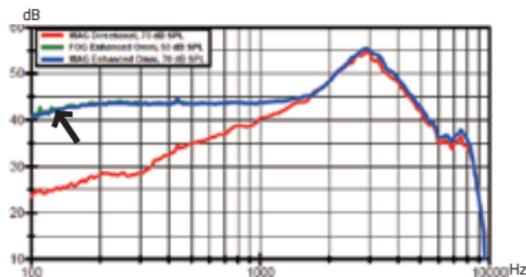
●90dB最大出力音圧レベル



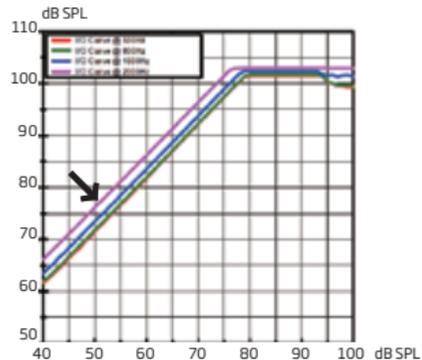
●周波数特性



●最大音響利得



●定常状態入出力特性

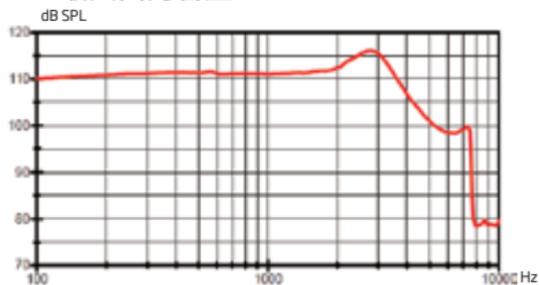


特性表

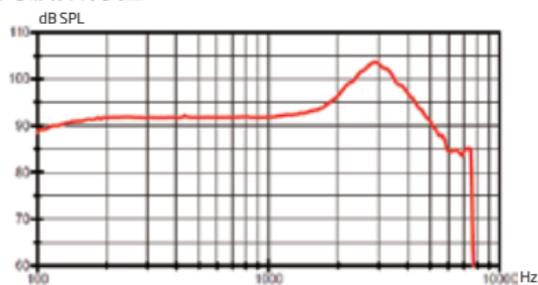
Intent2 miniRITE, Intent3 miniRITE, Intent4 miniRITE

<イヤホン85 (スピーカー85)>

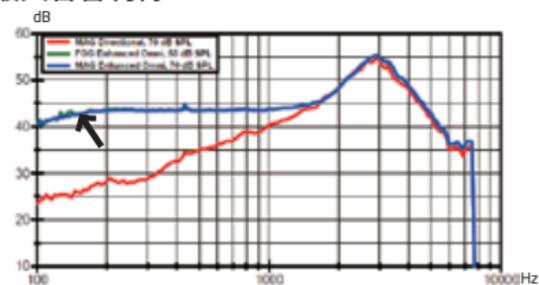
●90dB最大出力音圧レベル



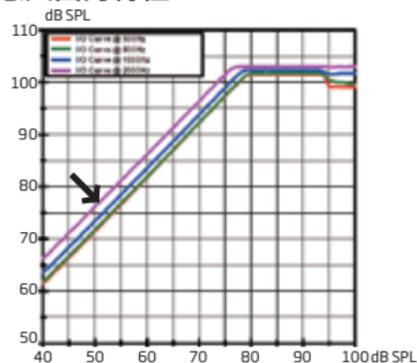
●周波数特性



●最大音響利得



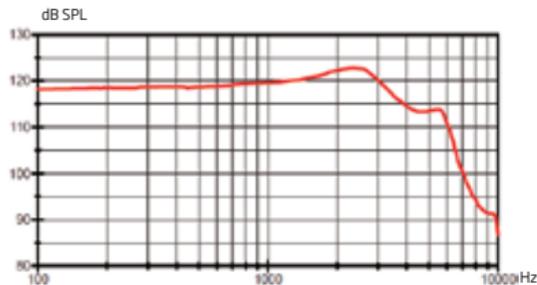
●定常状態入出力特性



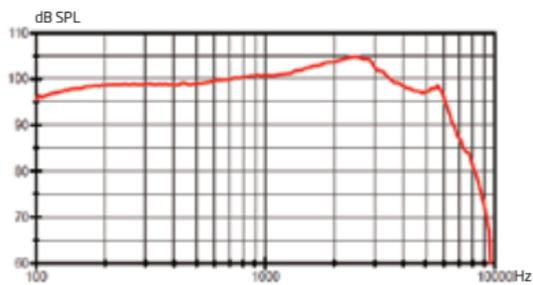
特性表

Intent1 miniRITE <イヤホン100 (スピーカー100)>

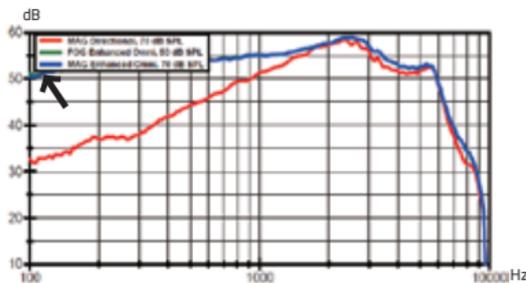
●90dB最大出力音圧レベル



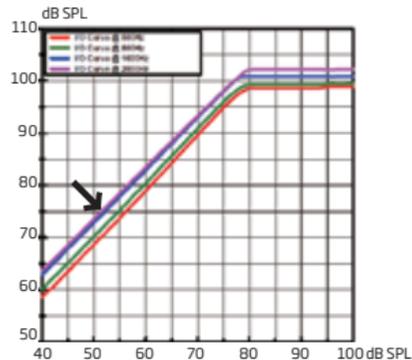
●周波数特性



●最大音響利得



●定常状態入出力特性

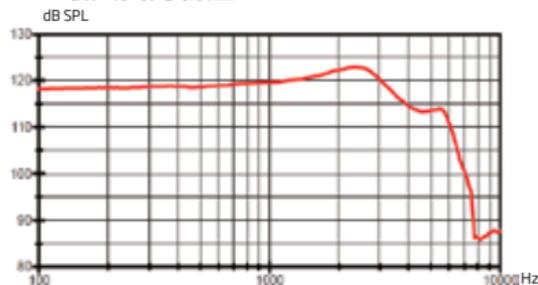


特性表

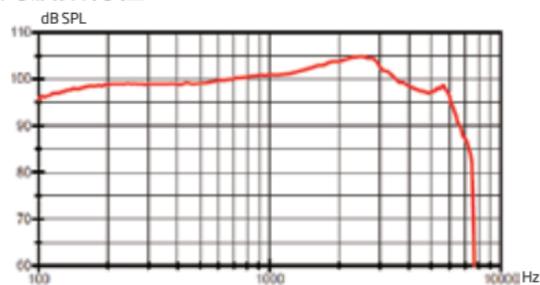
Intent2 miniRITE, Intent3 miniRITE, Intent4 miniRITE

<イヤホン100 (スピーカー100)>

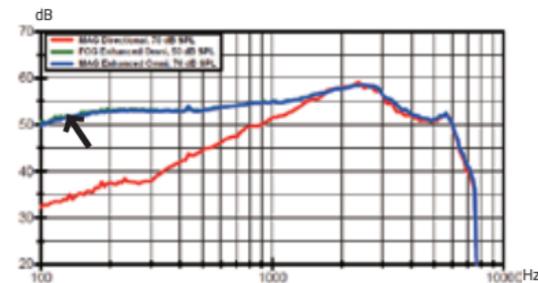
●90dB最大出力音圧レベル



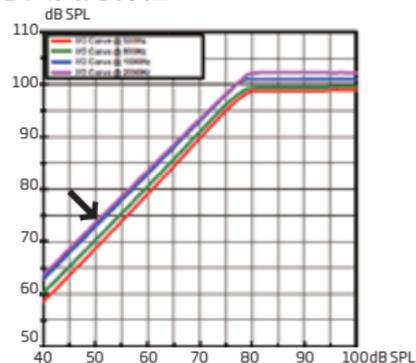
●周波数特性



●最大音響利得



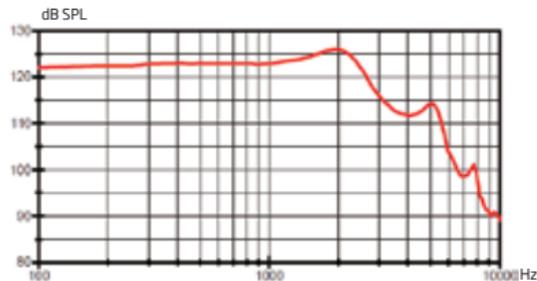
●定常状態入出力特性



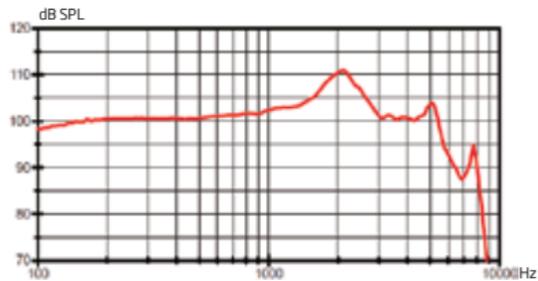
特性表

Intent1 miniRITE <イヤホン105 (スピーカー105)>

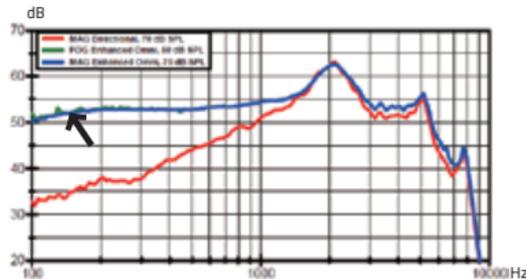
●90dB最大出力音圧レベル



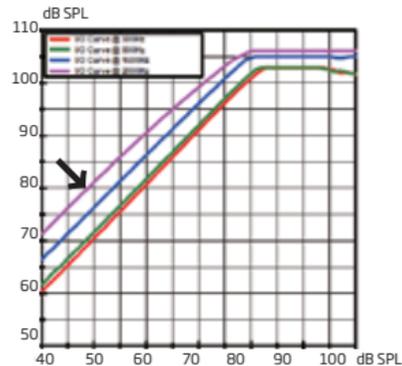
●周波数特性



●最大音響利得



●定常状態入出力特性

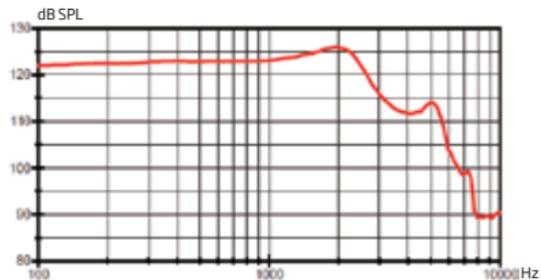


特性表

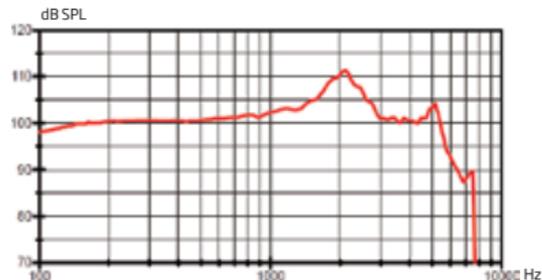
Intent2 miniRITE, Intent3 miniRITE, Intent4 miniRITE

<イヤホン105 (スピーカー105)>

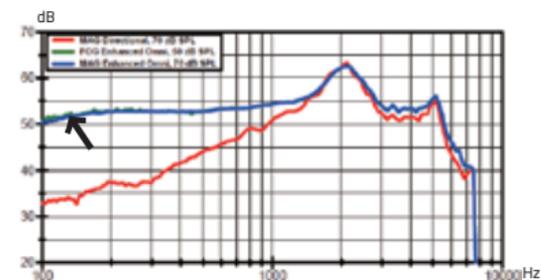
●90dB最大出力音圧レベル



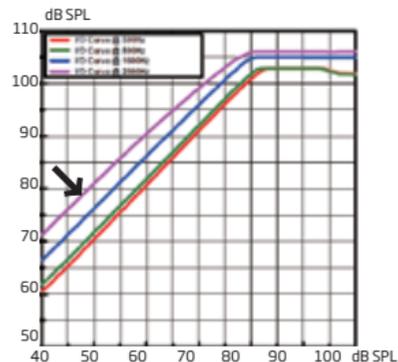
●周波数特性



●最大音響利得



●定常状態入出力特性



本書で使用される凡例



注意事項

本記号の記された事項は、製品の使用前に必ずお読みください。



メーカー

本製品メーカーの名称と住所は記号の横に記載されています。これは欧州指令2017/745に定義されている通りの医療機器メーカーであることを示します。



CEマーク

全ての関連する欧州指令・規則に準拠しています。
4桁の数字は、通知された認証機関の識別を示します。



Electronic waste (WEEE) / 廃棄

Recycle hearing aids, accessories or batteries according to local regulations. Hearing aid users can also return electronic waste to their earing care professional for disposal. Electronic equipment covered by Directive 2012/19/EU on waste and electrical equipment (WEEE).

本記号は、補聴器やその付属品、電池を通常と異なる廃棄物の処分が求められる可能性があることを示します。処分される際はお客様の自治体が定める方法に従ってください。



Regulatory Compliance Mark (RCM)

The device complies with electrical safety, EMC and radio spectrum requirements for devices supplied to the Australian or New Zealand markets.

IP68

IPコード

本記号は有害な水や粒子分子の侵入に対する、EN 60529に準じた保護等級を示します。IP6Xは完全な防塵保護を示します。IPX8は継続して水に浸された場合の保護を示します。



Bluetoothロゴ

Bluetooth SIG, Incの登録商標であり、これを使用するにはライセンスを要します。

本書で使用される凡例



Made for Apple バッジ

デバイスがiPhoneおよびiPadに対応していることを示します。



Mac バッジ

デバイスがMacに対応していることを示します。



Apple AirPlay バッジ

AirPlay ボタンを使用してMacから補聴器を接続/接続解除することができます。



Android バッジ

デバイスがAndroidに対応していることを示します。



ヒアリングループ

このロゴは補聴を表す普遍的なシンボルです。
「T」の文字はヒアリングループが設置されていることを示します。



無線周波数 (RF) トランスミッター

本製品はRFトランスミッターを搭載しています。

GTIN

Global Trade Item Number

医療機器用ソフトウェアを含む医療機器を識別するための14桁のグローバル識別コードです。本書に記載されるGTINは医療機器ファームウェアに関連します。法規パッケージラベル上に記載のGTINは医療機器ハードウェアに関連します。

FW

FW

デバイスに使用されているファームウェアバージョンを示します。



湿気厳禁

湿気から保護する必要のある医療機器を示します。

本書で使用される凡例

	カタログ番号 医療機器を識別するためのメーカーのカタログ番号を示します。
	シリアル番号 特定の医療機器を識別するためのメーカーのシリアル番号を示します。
	医療機器 本製品は欧州指令・規則に基づく医療機器です。
 Li-ion	電池リサイクル記号 Li-Ion電池のリサイクル記号です。
	温度限界 医療機器を安全に運用できる温度限界を示します。
	湿度限界 医療機器を安全に運用できる湿度限界を示します。
	無線周波数識別 製造およびサービス目的でデバイスに組み込まれたパッシブRFIDタグを搭載しています。
	機器固有識別子 機器の識別情報が含まれていることを示します。
	技適マーク Rは、電波法に基づく技術基準適合証明を示します。

保証とアフターサービス

保証書について

この取扱説明書には保証書に関する記載が記されています。製品保証書は必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容などをよくお読みいただき大切に保管してください。

国際保証について

日本国外でも保証条件を満たしたものは、無料修理が可能です。

故障などの場合

この補聴器の補修用部品の保有期間は製造中止後5年間となります。補修用部品はこの補聴器の機能を維持するために必要な部品です。補聴器の故障、また不具合が生じた場合には、お買い求めの販売店へお持ちください。

修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に本取扱説明書の90ページに従ってご確認いただき、なお異常がある場合には、使用を中止しお買い上げの販売店へご依頼ください。

○保証期間中は

お買い上げの販売店まで保証書をそえて補聴器をご持参ください。

○保証期間を過ぎている場合は

お買い上げの販売店に御相談ください。修理によって補聴器の性能が維持できる場合には、ご希望に応じて有料修理を承ります。

修理・お手入れ・お取り扱いに関するご相談は、まずお買い求めの販売店へご相談ください。

オーティコン補聴器

カスタマーサービスのご案内

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地ソリッドスクエア西館16階

電話：044-543-0615 FAX：044-543-0616

受付時間 平日9：30～17：30（土日祝日を除く）

e-mail: info@oticon.co.jp

※所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がございます。

国内保証

取扱説明書の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障が生じた場合には、お買い上げ補聴器の無料修理を保証いたします。

1. 無料修理をご依頼になる場合には補聴器保証書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
2. ご転居などの事情によりお買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、お買い上げ販売店または弊社カスタマーサービスまでご相談ください。
3. 当該保証期間を経過した補聴器の修理は有料となります。
4. 無償保証期間内でも、下記の場合には有料となります。
 - A) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - B) お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - C) 補聴器保証書の提示のない修理。
 - D) 地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）などによる故障または損傷の修理。（お買い上げ保険が指定する補償条件を除く）
5. 修理後3カ月以内に生じた同一箇所の故障は無料にて修理いたします。
6. オーダーメイドのシェル交換につきましては、当社が販売店に別途定める条件に基づくものとし、本保証書の適用は例外になります。
7. 補聴器保証書は日本国内においてのみ有効です。日本国外での保証に関しましては国際保証についての記載をご参照ください。
8. 補聴器保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

お買上保険特約

お買い上げいただいた補聴器が火災・盗難にあった場合、お買い上げ日より1年間無料修理・または同一器種または弊社が規定する器種再交付の補償をいたします。また同一器種または弊社規定の補聴器の再交付に際しては、保証書の付与はありません。

補償内容

火災：無償修理または同一器種または弊社が規定する器種の再交付

盗難：同一器種または弊社が規定する補聴器の再交付

補償の対象とならないもの

○地震・噴火・水害、落雷、その他天災地変による損害・故意・過失・置き忘れ紛失等による損害、電氣的・機械的的事故による損害

お買上保険特約請求に必要な書類

- 補聴器保証書
- 火災の場合：消防署発行の罹災証明書
- 盗難の場合：警察署に提出された盗難届の写し

国際保証

日本国外における保証(制限付き保証)

お使いの補聴器には、製造元が発行する国際保証が適用されます。保証対象は、電池や耳垢防止フィルターといったアクセサリパーツを除く機器本体となります。当該規定は弊社の国際保証規定により修理をお約束するものであり、法律上のお客様の権益を制限するものではありません。

お客様の誤った使用・過失・改造による故障および損傷に対しての修理、耳の状態変化、異物の混入による損傷に対しては、保証期間内であっても保証適用外となり修理をお断りする場合がございます。販売店によってはこの制限付き保証書の条項を越えた保証を提供する場合があります。詳しくは販売店までお問い合わせください。

日本国外において調整サービスを必要とする場合

補聴器販売店また補聴器販売に関わる専門家のもとに、補聴器をお持ちください。補聴器の軽微な修理サービスや調整をその場で受けることが可能です。一部に国際保証サービスをご提供できない拠点があります。サービス提供の有無については販売店までお問い合わせください。

補聴器の設定

専門家記入欄

耳鳴りサウンドサポート: 使用上限

<input type="checkbox"/>	使用上限なし		
	プログラム	開始音量 (耳鳴り)	最大音量 (耳鳴り)
<input type="checkbox"/>	1	1日最大 _____ 時間	1日最大 _____ 時間
<input type="checkbox"/>	2	1日最大 _____ 時間	1日最大 _____ 時間
<input type="checkbox"/>	3	1日最大 _____ 時間	1日最大 _____ 時間
<input type="checkbox"/>	4	1日最大 _____ 時間	1日最大 _____ 時間

耳鳴りサウンドサポートの補聴器設定の概要

左	右
<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	耳鳴りサウンドサポート <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

A) 耳鳴りサウンドサポートの音量を別個に片耳ずつ変更する方法
(片方の)音量を上げる/下げるには、好みの音量になるまで補聴器のプッシュボタンを短く押してください。

B) 耳鳴りサウンドサポートの音量を両耳同時に変更する方法
片方の補聴器を使って音量を上げ、もう一方の補聴器を使って音量を下げる事が可能です。
音量を上げるには、右の補聴器のプッシュボタンを繰り返し短く押してください。
音量を下げるには、左の補聴器のプッシュボタンを繰り返し短く押してください。

専門家記入欄

補聴器設定の概要

左		右
<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
<input type="checkbox"/> 短く押す	プログラム切り替え	<input type="checkbox"/> 短く押す
<input type="checkbox"/> 長押し		<input type="checkbox"/> 長押し
<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	音量調節	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
音量調節インジケータ		
<input type="checkbox"/> オン <input type="checkbox"/> オフ	最小/最大音量でのビーブ音	<input type="checkbox"/> オン <input type="checkbox"/> オフ
<input type="checkbox"/> オン <input type="checkbox"/> オフ	音量変更時のビーブ音	<input type="checkbox"/> オン <input type="checkbox"/> オフ
<input type="checkbox"/> オン <input type="checkbox"/> オフ	開始音量でのビーブ音	<input type="checkbox"/> オン <input type="checkbox"/> オフ
電池残量インジケータ		
<input type="checkbox"/> オン <input type="checkbox"/> オフ	電池残量低下警告	<input type="checkbox"/> オン <input type="checkbox"/> オフ

専門家記入欄

通知音とLED表示

補聴器の状態毎に、通知音とLED表示が設定されます。各設定は次ページに表記されています。充電器のLED表記については、充電器の取扱説明書を参照ください。

お客様の好みに合わせて、聴覚ケア専門家が通知音とLED表示を設定します。

プログラム	<input type="checkbox"/> 通知音	<input type="checkbox"/> LED表示*	使用環境
1	ビーブ音1回	○	
2	ビーブ音2回	○○	
3	ビーブ音3回	○○○	
4	ビーブ音4回	○○○○	

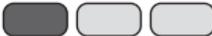
○ 緑色、早い点滅

*連続点滅または、3回点滅

次ページに続く

電源	通知音	LED表示	LED表示について
電源オン	<input type="checkbox"/> メロディ音	<input type="checkbox"/> 	1回のみ
電源オフ	<input type="checkbox"/> 下降音 4回	<input type="checkbox"/> 	
音量	通知音	LED表示	
開始音量	<input type="checkbox"/> ビープ音 2回	<input type="checkbox"/> 	
最小/最大音量	<input type="checkbox"/> ビープ音 3回	<input type="checkbox"/> 	
音量を上げる/下げる	<input type="checkbox"/> ビープ音 1回	<input type="checkbox"/> 	
消音		<input type="checkbox"/>  	連続点滅または3回点滅

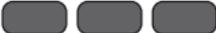
 緑色、ゆっくり点滅
  緑色、早い点滅
  オレンジ色、ゆっくり点滅
  オレンジ色、早い点滅

アクセサリ	<input type="checkbox"/> 通知音	<input type="checkbox"/> LED表示	LED表示について
TVアダプター 3.0	2種類のトーン音		連続点滅または、 3回点滅
Eduマイク	2種類のトーン音		
ConnectClip	2種類のトーン音		
Bluetooth	<input type="checkbox"/> 通知音	<input type="checkbox"/> LED表示	
Bluetooth オン	下降音4回+短いメロディ音		
Bluetooth オフ	下降音4回+短いメロディ音		3回点滅が選択された場合のみ

 緑色、ゆっくり点滅
  緑色、早い点滅
  オレンジ色、ゆっくり点滅
  オレンジ色、早い点滅

次ページに続く

警告	通知音	LED表示	LED表示について
電池残量低下	<input type="checkbox"/> ビープ音 3回	<input type="checkbox"/> ● ● ● ● ● ● ● ●	継続的に繰り返す
	<input type="checkbox"/> 音声通知		
電池残量無	下降音 4回		
マイクのお手入れが必要 または、サービスモード	ビープ音 8回を 4回繰り返す	<input type="checkbox"/> ■ ■ ■ ■	継続的に 4回繰り返す。トラブルシューティングを参照ください。
充電器にセットした状態で、LED表示が動作しない		無灯	トラブルシューティングを参照ください。

警告	通知音	LED表示	LED表示について
充電器にセットした状態で、LED表示がオレンジ色に点滅			継続的に繰り返す。 トラブルシューティングを参照ください。

 緑色、ゆっくり点滅
  緑色、早い点滅
  オレンジ色、ゆっくり点滅
  オレンジ色、早い点滅

トラブルシューティング / 故障と思われるときの対処法

症状	可能性のある原因
音が出ない	補聴器の電源切れ
	充電機の容量がない
	スピーカーが非対応
	イヤピースの音の出口が詰まっている(ドーム類、グリップチップ、モールド)
	補聴器のマイクが消音状態
ブツブツ音がする、音が弱い	音の出口が詰まっている
	湿気
ピーピー音がする	補聴器がきちんと耳に入っていない
	耳の中に耳垢が詰まっている
ピーブ音が聞こえる(サービスモード)	補聴器から連続したピーブ音 8 回を 4 回連続して聞こえた場合、補聴器のスピーカーのチェックが必要
スマートフォンとのペアリングの問題について	Bluetoothの接続に失敗した
	片方の補聴器のみペアリングがされている
Macとの接続問題について	オーディオの問題

対策

補聴器を充電する

聴覚ケア専門家に連絡をする

聴覚ケア専門家に連絡をする

モールドを清掃する、
または耳垢防止フィルター、ドームまたはグリップチップを交換する

消音機能を解除する

モールドを掃除する、または耳垢防止フィルター、ドームまたはグリップチップを交換する

補聴器を柔らかい布で拭く、補聴器を十分に乾かす

補聴器を入れ直す

耳鼻科医を受信する

まずスピーカーの掃除をお試ください。
ビープ音が鳴りやまない場合、聴覚ケア専門家までご連絡ください。

1) 補聴器とのペアリングを解除 2) Bluetoothの設定を一旦オフにして再度オンにする 3) 補聴器を一旦オフにして再度オンする 4) 補聴器と再ペアリングを行う (ガイドンスについては次へアクセスしてください:
www.oticon.co.jp/pairing/)

1) Macのコントロールセンターを開く 2) [サウンド] の[AirPlay]ボタンをクリックしてオフにする 3) 補聴器を一旦オフにして再度オンにする 4) [サウンド] の[AirPlay]ボタンをクリックしてオンにする

注意

以上で解決しない場合には、聴覚ケア専門家にご相談ください。

次ページへ続く

トラブルシューティング / 故障と思われるときの対処法

充電器に関わるトラブルシューティングは、充電器の取扱説明書を参照してください。

症状	可能性のある原因
充電器にセットしても補聴器のLEDが点灯しない	充電器の電源がオフ
	補聴器または充電器が過度に熱い、または冷たい
	充電が不十分。充電池を保護するため充電プロセスを停止している
	補聴器が正しく充電器にセットされていない
補聴器の充電端子が汚れている	
充電器にセットすると補聴器のLEDがオレンジ色にゆっくり点滅するが、充電器から取り出しても電源がオンにならない	電池残量が非常に低く、補聴器の電源をオンにする十分な残量がない
補聴器を充電器にセットした際に補聴器のLEDがオレンジ色に素早く点滅する	システムエラー

対策

充電器が電源に接続されているか、またはパワーバンクに十分電池があるかを確認

充電器と補聴器を+5°C～+40°C (+41°F～+104°F)の温度環境にする

再度補聴器を充電器にセットする。この場合、充電は約15分で完了する

充電ポートに異物がないか確認する

乾いた布で接点を綺麗にする

補聴器は充電中です。充電中は、補聴器を充電器に入れたままにしてください

聴覚ケア専門家に連絡をする

注意

以上で解決しない場合には、聴覚ケア専門家にご相談ください。

製造販売業者:デマント・ジャパン株式会社
第2種医療機器製造販売業許可番号:14B2X10013
一般的名称:耳かけ型補聴器
販売名:シリウス耳かけ型
認証番号:306AIBZX00010000

< 8,15 mm >



>

21 mm

<

< 15 mm >

< 9,0 mm >



oticon
life-changing **technology**